

か の が わ

令和4年7月22日

校長 羽田稔彦

合い言葉は「気づき 考え やってみよう みがきあおう」

子供たちは可能性という種をもっている

4月7日に始まった1学期。感染症、熱中症、そして気象と、3つの「しょう」を心配し、対応しながらの1学期、72日間が本日で終業となりました。

運動会を始め計画されていた活動をほぼ行うことができたことに安堵しています。保護者の皆様には、御理解、御協力を賜ったことを心から感謝しております。ありがとうございました。

1学期の終業式。私は子供たちに「通知表を見て、できたか、できないかだけではなく、この1学期に、自分がどのように伸びたかどうか、自分のどんなことが成長したかどうかということでも、自分のことを振り返ってほしい」「みなさんの心が成長することや学力が伸びることというのは、いろいろな植物が成長することと似ている」と投げかけ、次のように話しました。

植物にはいろいろな種があります。私は、みなさんにも、それぞれ、その人が自分らしく成長していくための「可能性」という種を、それぞれの人が持っていると思っています。

植物はその種が豊かな土にまかれ、自分で伸びようとする力と、水や肥料、太陽の光の力によって芽を伸ばし、グングン成長していきます。そして、それぞれの花や実をつけていきます。

みなさんの種はどうでしょう。みなさんの種が蒔かれた豊かな土は、学校やそれぞれの学級です。自分で伸びようとする力は、「やってみよう」という気持ちです。そして、芽を伸ばし、グングン成長していくために必要な水や肥料、太陽の光は、1学期みなさんが、毎日がんばって行った教科の授業や活動、そして運動会や社会科見学などの行事で、仲間同士でみがきあったことです。

きっと、その人が「やってみよう」とがんばった分や、クラスの仲間とみがき合った分が、たっぷりとした栄養となって、それぞれの人が芽を伸ばし、1学期のその人の成長の花や実ができていますのだと思います。植物は、それぞれ花が咲く時期や実をつける季節が違います。人によったら1学期、花や実をまだつけずに芽が伸びている途中という人もいるかもしれません。その人は、2学期に引き続き芽が伸び、花や実をつけることができるようにしましょう。

夏休みになると、子供たちの可能性の種が蒔かれる土は、家庭や地域になります。コロナウイルスの感染が心配されますが、感染防止に配慮しながら、夏休み中にも芽が伸び、花や実ができるように、水や肥料、太陽の光となるいろいろな体験や挑戦をしてほしいと思います。2学期の始まる8月24日には、子供たちそれぞれが、豊かな花や実をつけて、学校に来ることができるようお願いいたします。

2年生 ミントマトやピーマンなどの野菜

3年生 ホウセンカ

1年生 アサガオ

1学期 子供たちは
いろいろな植物を
育てました

4年生 ツルレイシ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止

夏季休業中における注意喚起について

夏休みを迎えるにあたり、沼津市教育委員会より感染症の拡大防止に関する以下のような注意喚起がありました。

- (1) 毎日の児童生徒等の健康観察等を行い、発熱等の風邪症状がある場合には、極力家庭外との接触を避け、自宅で休養する。
- (2) 感染リスクの高い行動は避けるよう心掛ける。また、感染リスクの高い行動をとった家族がいる場合は、家庭内感染に十分配慮した行動に心掛ける。熱中症が心配な気温・湿度においては、三密（密閉・密集・密接）の回避を心掛けつつ、マスクを無理に着用しない。

本校では、(1)の健康観察については、学期中と同様にリーバーを使って行います。夏休み中ではありますが、入力をお願いします。特に2学期が始まる1週間前は、子供たちの健康状態を把握することが、2学期の始業日の対応への目安にもなります。御理解、御協力をお願いいたします。

3年ぶりにプールに入りました



令和6年度から使う
5年生社会科教科書の表紙の写真を
沼津港で撮影しました



いざ 鎌倉へ
6年生が、自分たちで計画を立て、行動し、鎌倉の寺院や史跡を探索しました。